

山都町SDGs 2030年基本目標

令和5年4月

山都町

山都町が実現する3つの未来

【目標 1】 山都町の魅力を活かしたまちになる

- ① 山都町らしい農業が成長し続けるまちをつくる
- ② 人・自然・伝統芸能などに魅了され訪れたいくなるまちをつくる
- ③ 受け継がれてきた食文化をつなぎ、循環するまちをつくる

【目標 2】 住み続けられるまちになる

- ① 山都町の魅力を語る子どもたちが育つまちをつくる
- ② 高齢者が生きがいを持って元気に活躍するまちをつくる
- ③ 地域や集落の住民が安心して住み続けられるまちをつくる
- ④ 多様な個性を認め合い共生のまちをつくる

【目標 3】 資源を大切に活用できるまちになる

- ① 自然エネルギーを活用したエコなまちをつくる
- ② ごみのリサイクル利用など資源を大切に使うまちをつくる
- ③ 適切な森林の管理・活用により、生命・土・水を守るまちをつくる

【目標 1】 山都町の魅力を活かしたまちになる

目標 1 – ① 山都町らしい農業が成長し続けるまちをつくる



※ 1 「山都町らしい」・・・全国でも有数の有機農業先進地であり、高冷地で栽培される夏秋野菜等の有名な生産地であること。また、若手の農業後継者が育成され活躍している地域であること等。

※ 2 「農業が成長し続ける」・・・農産物のブランド化や販路の拡大により、「儲かる農業」が実践されている地域であること等。



<具体的な取組【例示】>

地域住民の取組	事業者等の取組	行政の対応	指標
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ぐるみでの除草活動 ● スマート農業の推進に向けた取り組み ※ドローン・草刈りロボットの導入、AIによる水管理、センサーによる獣害対策など ● 農家による農産物の直売 ※無人販売所の設置など ● 地元産農作物の積極的な購入・消費 	<ul style="list-style-type: none"> ● 除草活動に対する人的支援 ● スマート農業に伴うオペレーター支援等の充実 ● 有機野菜を使った加工特産品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動への支援 ※多面的機能支払・中山間地域等直接支払事業実施組織への活動支援など ● スマート農業の推進に向けた助成制度の構築 ● 広報媒体を通じた積極的な情報発信 ● 環境保全型農業及び有機農業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動の実施件数 ● 農業従事者の年齢別人口の割合



目標 1 – ② 人・自然・伝統芸能などに魅了され訪れたいくなるまちをつくる

※ 1 「人・自然・伝統芸能など」・・・山都町の魅力のある人々、棚田や蘇陽峡などの自然景観、清和文楽・神楽・八朔祭の大造り物など地域に伝承されている各種芸能のこと。



<具体的な取組【例示】>

地域住民の取組	事業者等の取組	行政の対応	指標
<ul style="list-style-type: none"> ● 地元の伝統芸能の観劇やイベントへの積極的な参加 ● 町の情報を積極的にシェアする ※ 地域のイベント情報や行政情報など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統芸能の後継者育成 ● 体験型ツアーの企画 ※ 農業・食・伝統芸能・キャンプなど 	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統芸能の広報活動 ● 伝統芸能を受け継ぐ後継者育成 ● 町の魅力を案内できるコーディネータ育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統芸能等への来客数 ● 観光客数 ● インターチェンジ乗降車数

【目標 1】 山都町の魅力を活かしたまちになる



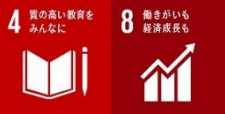
目標 1 – ③ 受け継がれてきた食文化をつなぎ、循環するまちをつくる

※ 1 「循環」 地元の食材を地元で消費するため、町内での地産地売を拡げ、食を無駄なく使いながら、郷土料理などを代々受け継いでいくこと。



<具体的な取組【例示】>

地域住民の取組	事業者等の取組	行政の対応	指標
<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統食・郷土食の次世代への伝承 ※レシピの保存など ● 各地区での郷土料理教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● 郷土料理を食べることができる場の提供 ※レストラン・食堂など ● 地元の食材を積極的に取り入れたメニューの提供 ● 熊本県地産地消協力店への登録 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校給食での地元産農産物の採用 ● 伝統食や郷土食、地元産農産物の広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校給食食材の地元産採用・使用割合 ● 熊本県地産地消協力店登録件数



目標2-① 山都町の魅力を語る子どもたちが育つまちをつくる

※1 「山都町の魅力」・・・山都町の食文化や伝統文化、豊かな農産物などのこと。

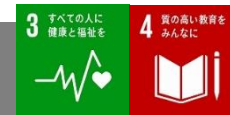
※2 「子どもたちが魅力を語る」・・・大人から子ども達へ町の食文化や伝統文化などを伝える環境を残し、山都町に愛着を持ち続ける子どもたちを育てること。



<具体的な取組【例示】>

地域住民の取組	事業者等の取組	行政の対応	指標
<ul style="list-style-type: none"> ● 昔ながらの行事を子どもたちに伝える ● 地域や家庭で食育を進める ※農業体験、郷土食、ジビエなど 	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業情報と合わせた山都町の魅力発信 ※SNSの開設・運営など ● 伝統文化保存会の維持・設置 ※神楽・文楽・太鼓・郷土食など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各地域の伝統文化の広報活動 ● 伝統文化伝承者リストのPR・活用 ● 山の都創造チャンネル等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ● SNS登録者数 ● 伝統文化の伝承者数

【目標2】 住み続けられるまちになる



目標2-② 高齢者が生きがいを持って元気に活躍するまちをつくる

※1 「元気に活躍する」・・・健康寿命をのばし、高齢者の社会参加の機会を増やすこと。



<具体的な取組【例示】>

地域住民の取組	事業者等の取組	行政の対応	指標
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者による運動や活動機会の創出 ● 「生きがい」に繋がる生涯学習の実践 ● 家族や地域住民による高齢者の外出支援・見守り活動 ● 高齢者も積極的にデジタル社会への対応を自らが行うよう努力する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業によるシルバー人材の受け入れ ● 地域での健康講話の実施 ※運動サポーター資格者団体などによる ● スマホ教室やパソコン教室の開催 ● 事業者もデジタル社会に対応する ● 就業場所への送迎支援 ● シルバー人材センターを活用したマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者が働く機会の創出 ● 介護ボランティアの人材育成 ● イベント等への助成金の支出 ● あらゆる分野でのデジタル化 ● 見守りネットワークの構築 ● シルバーヘルパーの活動支援（研修等） ● シニアクラブの活動補助 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の就業者数 ● 健康寿命 ● 高齢者のマイナンバーカード取得率 ● シルバー人材センター活用状況 ● 介護ボランティア登録数

目標2－③ 地域や集落の住民が安心して住み続けられるまちをつくる



※ 1 「安心して住み続けられる」・・・培われてきた住民間のつながりを大切に、住環境、集落維持、美しい景観など、誰もが心地よく、安心して住み続けられること。



<具体的な取組【例示】>

地域住民の取組	事業者等の取組	行政の対応	指標
<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな世代間・住民間の交流の場としての空き家活用 ● 自主防災組織への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 不動産・家主による空き家バンクの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家バンクの広報活動 ● 移住者等への支援の充実 ● 子育て世代への支援の充実 ● バリアフリーの支援 ● 高齢者住宅への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 転入出者数 ● 移住者数 ● 自主防災組織の活動数

【目標2】 住み続けられるまちになる



目標2-④ 多様な個性を認め合い共生のまちをつくる

※1 「多様な個性」 個人や集団の間に存在する様々な違いのこと。高齢者・障がい者などの社会的弱者や国籍、年齢、性別等、一人ひとりの違いのこと。



<具体的な取組【例示】>

地域住民の取組	事業者等の取組	行政の対応	指標
<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な個性や違いがあることを理解する高齢者・障がい者・外国人との交流の機会への積極的な参加 ● 人権教育・啓発活動への積極的な参加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者・障がい者・外国人など様々な人々が働ける機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者・障がい者・外国人との交流の機会の創出 ● 高齢者や障がい者、外国人の学習機会の提供 ● 全ての住民の人権が尊重されるまちづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者雇用率 ● 障がい者等の雇用の場の数

目標3-① 自然エネルギーを活用したエコなまちをつくる



<具体的な取組【例示】>

地域住民の取組	事業者等の取組	行政の対応	指標
<ul style="list-style-type: none"> ●薪ストーブ、太陽光発電、太陽熱温水器、電気自動車などの導入 ●再生可能電力への切り替え ●こまめな節電 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所への薪ストーブ・太陽光発電・蓄電池などの設置 ●薪の製造・販売 ●省エネ活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●エコライフ補助事業の充実・拡大 ※薪ストーブ、太陽光パネル設置補助など ●省エネ活動の普及啓発 ●省エネ住宅への改修補助の制度化 ●公用車のEV化 ●公共施設の自然エネルギー活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●薪ストーブの導入率 ●補助事業数 ●公用車のEV化率 ●公共施設の太陽光パネル設置数

【目標3】 資源を大切に活用できるまちになる

目標3-② ごみのリサイクル利用など資源を大切に作るまちをつくる



<具体的な取組【例示】>

地域住民の取組	事業者等の取組	行政の対応	指標
<ul style="list-style-type: none"> ●マイバッグの利用 ●分別を徹底してリサイクル・リユース ●生ごみのたい肥化（コンポストなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ●リサイクルセンターの設置・運営 ●ごみ分別の徹底（事業所ごみ） ●規格外野菜が流通する仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●ごみに関する教育・人材育成 ●ごみ分別の細分化をわかりやすく広報 ●コンポスト普及に向けた補助事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●ごみの総量 ●リサイクル率 ●コンポストの普及率

目標3-③ 適切な森林の管理・活用により、生命・土・水を守るまちをつくる



※1 「適切な森林の管理・活用」 森林の伐採・植栽・育林などによる適切な森林整備を進め、森林のCO2吸収機能を高めること。また、木材の活用を図ること。

※2 「生命・土・水を守る」 土砂崩れ防止や水源、生物多様性などの保全を進め自然環境を守ること。



<具体的な取組【例示】>

地域住民の取組	事業者等の取組	行政の対応	指標
<ul style="list-style-type: none"> ● 自己所有林の確認と相続等適正な管理 ● 森林ボランティア活動への参加 ● 森林が持つ機能や役割の理解力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 林業従事者の人材育成 ● 森林組合による森林所有者の各種相談への対応 ● 林地残材の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 造林への補助 ※伐採・下草刈りなど ● 町産材の活用 ● 獣害対策 ※鹿侵入防止ネットなど ● 担い手育成への補助 ● Jクレジットの創出 ● 森林の維持・活用に関する情報発信と普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ● 林業従事者数 ● 町産材の出荷数量 ● Jクレジットの創出量・販売量 ● 間伐、造林面積